

活動報告

2010年

- 4月
 - ・ 合同 P T 会議開催
 - ・ 男女共同参画室構成員を各研究科より1名ずつ増員
 - ・ アカデミックアシスタントの継続配置
- 5月
 - ・ オープンキャンパス時に広報ブースと一時託児の実施
 - ・ 合同 P T 会議開催
- 6月
 - ・ 男女共同参画室ホームページに学長メッセージを掲載
 - ・ W L B 相談窓口を開設
 - ・ 合同 P T 会議開催
 - ・ 任期付職員の採用及び給与に関する特例規定、在宅勤務実施要領(案)の作成
- 7月
 - ・ 第2回在宅勤務検証の実施
 - ・ 合同 P T 会議開催
- 8月
 - ・ けいはんな女性研究者ネットワーク立ち上げ
 - ・ 男女共同参画室構成員会議開催
 - ・ 第1回茶話会の開催(けいはんな女性研究者ネットワーク)
 - ・ メンター制度の実施
 - ・ 出張時保育支援実施に向け調査検討
 - ・ 第1回見学会の開催(けいはんな女性研究者ネットワーク)
 - ・ 合同 P T 会議開催
- 9月
 - ・ 奈良女子大学「ならっこネット」のモニター検証開始
 - ・ バイオサイエンス研究科国際シンポジウム一時託児実施
 - ・ 第3回在宅勤務検証の実施
 - ・ 合同 P T 会議開催

- 10月
 - ・ 事業合同シンポジウム参加(京都大学)
 - ・ 男女共同参画ミニ講座「基本的な相談の聴き方」開催
 - ・ 第2回茶話会の開催(けいはんな女性研究者ネットワーク)

PICK UP!

女性研究者ネットワークの第1回茶話会が開催されました

平成22年8月2日(月) 18:00~20:00 けいはんなプラザ ラボ棟2階の「けいはんな交流室 天の川」において、けいはんな女性研究者ネットワークの第1回茶話会が開催されました。けいはんな地区の様々な企業や大学から女性研究者のみなさんにお越しいただき、総勢22名の方にご参加いただきました。お子様連れの方も数名おられました。

第1回ということで、まずは自己紹介。その後は皆でお菓子を食べながら、話に花を咲かせました。みなさん終始楽しく時間を過ごされました。



第2回茶話会がオムロンにて10月29日(金)に開催されました。

参画室の役割と活動①

磯貝 彰学長メッセージ

男女共同参画の実現は、今後の日本の社会での重要課題であり、働く人すべての問題です。しかし、大学という立場で現状を見ると、今解決すべき課題は、女性研究者が少ないことでもあります。その原因の一つとして、女性研究者が育児などの生活と研究との両立が困難なことがあります。こうしたことから、本学では、前学長の時代に、全学の意志をとりまとめたものとして「女性研究者支援モデル育成事業」を計画・申請し、それが採択され、昨年度から、本事業が開始されています。本事業の推進を図るため、本学では、昨年度男女共同参画室を設置しました。

この事業でのミッションとして、女性研究者の採用比率を20%高めること、また、女性研究者の研究成果を30%上昇させることを数値目標としてあげてあります。こうしたことの実現のためには、大学として、女性研究

者の抱えている問題の解決を目指した支援システムを確立し運用するとともに、女性研究者自らが、今の時代の先駆者として頑張る、また、そのことを理解して男性研究者を含めみんなで応援するという、相互理解を基盤とした活動が重要であります。

今あらためて、大学執行部として、教育と研究の現場である研究科として、また、事務局として、さらには、女性研究者自らとして、それぞれの立場で、おたがいの立場を理解し、協力して、努力していくことが必要であると考えています。

本計画は、補助金の終了する3年後からは、大学独自の事業として継続していくことも約束しております。そのことも理解され、実効性のある計画を立て、実施していただきたいと思います。それによって、本学における男女共同参画を一步でも前進させたいと思います。本学教職員の皆さんの協力をお願いする次第です。

参画室の役割と活動②

遠隔実験支援システム ～ポリコム の貸出～

在宅のまま研究・教育活動に携わることができるユニークな研究・教育用ネットワークを整備するとともに、妊娠中の女性研究者が放射線や化学薬品等を使う実験室での実験指導や観測を遠隔で行えるようにする遠隔実験支援システム等の実効性の検証を現在行っています。

その一環として、本学在籍の女性教員・女性研究員の研究支援に役立てるため、ポリコムの貸出しサービスを行っています。

男女共同参画室には現在ポリコム2台を管理しております。希望の方はHP又はお電話にて申込方法をご確認の上、お申込みください。

場所: 研究調査センター棟3F 男女共同参画室内
受付窓口: 参画室内受付または専用メールアドレス
TEL: 0743-72-5137/5138
E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp
HP: http://naist/gender/contents/other/about_polycom.html

コラム 今悩んで。これから悩むことになる。そんなあなたのワーク・ライフバランスの手助けに!

第1回 テーマ「子育て」①

総合情報基盤センター 情報ネットワーク運用技術・辻井高浩助手

私には予備校生の娘と中学3年生の二人の娘がいます。

先日ピアノの発表会で私は、このうちの中学3年生の娘と連弾をしました。私は今までピアノを弾いたことがなかったので、ピアノの発表会の3ヶ月前より毎週娘と一緒にピアノ教室に通い練習をしました。その結果、発表会で演奏を無事に行うことができたのです。

中学3年生の女の子が父親と連弾をするという事は珍しい事で、中学生ぐらいの年ごろの女の子は父親を毛嫌いするとも聞いています。しかし、二人の娘とも年ごろでありながら私に非常になついてくれています。これは私が子供っぽい性格なため、子供と同じ目線で接してきたからではないかと思えます。同じ目線とは、同じ立場にたち物事を一

緒に考え、感じてあげることです。多くの家庭では母親が主に生活面の教育(躾)を行っている訳ですから同じ目線にはなりにくいのです。父親として母親をフォローする意味でも一人間として子供達と同じ目線で接してきた事には意味があったのだと感じております。

もちろん、子育ての実務の大半を行った妻への感謝の気持ちも忘れてはいけません。また、この感謝の気持ちを子供達に感じとらせることも大事です。私の娘達は、まだまだ周囲への感謝の気持ちを持っていません。これは社会に出てから勉強する部分かもしれませんが、この周囲への感謝の気持ちを持てる人間になれるように今後、夫婦で手本を示せていけたらと考えています。

今後の活動予定

- 11月 ・サイエンスフェスティバル時に広報ブースと一時託児の実施
・合同PT会議
- 12月 ・シンポジウム開催



お知らせ

けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、WLBの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法:

ご氏名・所属・メーリングリスト用メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込み下さい。

E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp

※詳しくは参画室HPをご覧ください。(URL: http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html)

WLB相談窓口

WLBに関する情報を提供しておりますので、お気軽にお越しください。

場所: 研究調査センター棟3F 男女共同参画室内
受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受付時間: 月曜日～金曜日 10:30～12:00/ 13:00～17:00
TEL: 0743-72-5138
E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp